

『負音（ふおん）』 寸評

- ・密度高く組まれた不穏要素のコンポジション
- ・同質性の強い弦楽四重奏が活かされている
- ・m.8-11 とりわけ細かいリズムのくいつきが印象に残る
- ・インスピレーションの泉を掘りあてたかんじ
- ・タイトルのダブルミーニングもすばらしい

完成度をさらに上げるために

- ・m.8-9どちらも記譜を正しく書き直そう



- ・m.10-11 b.1  付点八分音符でよい

- ・m.13 b.3 チェロ スラーがダブっている

- ・m.18 b.1-2 チェロ 二度上の主音ミでいい

- ・m.19 b.1 Vn.I,II  連桁の方がみやすい

- ・m.19 b.3 Va. レ#でよいのでは

- ・m.21 b.1 Vn.I ラ#→シの半音上行の方が自然

- ・m.12-13 チェロ スラーは1小節ずつに区切ってもよいかも

- ・m.19 b.1 クライマックスとしてディナーミク *sf* とかつけたらどうだろう

m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

音と人の心とがたなるねであい。

持麿 勉